



奈々子 report

大山奈々子レポート《発行：日本共産党港北区委員会 樽町1-24-36 ☎045-543-4138 2018年4月の2

○県政の前進面と課題について県民の声の反映状況です。

私学に通わせる家庭への支援がひろがりました！



神奈川県では私立高等学校等に在学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、入学金・授業料の返還不要の補助を行っています。

2018年度は生徒学費補助金を拡充し、国の制度と合わせて年収約590万円未満世帯について、県内私立高等学校の平均授業料432,000円まで支援することになりました。国が2020年に拡充するのに2年先駆けて行うものです。

私たち日本共産党県議団は、私学の常費補助や学費補助の拡充を求めると合わせて、県立高校では20校から30校もの統廃合計画をやめるよう求めています。高校の中途退学が年間3千人近くに上ります。全日制高校を望む子が志望先をやむなく変更させられていることも要因の一つと考えられます。



第1回定例会に提出された請願の審査結果です。

*共：日本共産党神奈川県議会議員団 *自：自由民主党神奈川県議会議員団 *民：かながわ民進党神奈川県議会議員団 *公：公明党神奈川県議会議員団 *政：県政会神奈川県議会議員団 *わ：わが町 *ネ：神奈川県ネットワーク運動 *絆：神奈川県絆の会 ○は採択、△は継続審査、×は不採択

件名	共	自	民	公	政	わ	ネ	絆	結果
私立幼稚園に対する公費助成の大幅増額を求める請願 《賛同署名 9,864人》	○	×	×	×	×	×	○	×	×
教育費の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願《賛同署名 184,383人》	○	×	×	×	×	×	○	×	×
神奈川県議会政務活動費の領収書等の県議会ホームページでの公開を求める請願	○	△	△	△	△	△	△	△	△
神奈川県議会「政務活動費の指針」の見直しについての請願	○	△	△	△	△	△	△	△	△

……切実な声を県政に生かせるよう力をつけていきたいと思ひます。

県民が政務活動費の住民監査請求を (しんぶん赤旗 3月30日号要約)

神奈川県民11人による、自民党県議団が政務活動費として支出を受けた約205万円は違法だとして返還を求める住民監査請求が行われました。ある議員の一か月のガソリン代が10万円を超える月が5か月もある点が異常であり使用不可能な数字だと指摘しています。また、議会が開催されている日にタクシーで出勤していることも疑問視され、交通費が実費支給されていることからの不当性も指摘されています。



代理人の弁護士からは「違法性が疑われているのですから、自民党県議団は詳細を明らかにする責任が問われます。誰が何の目的で交付を受けたのか明らかにできるように、領収書に具体的な使用目的と氏名を記載するなど制度の改善が必要です」とのコメントが寄せられています。